

時はおもちや箱に詰めこんで

作・錦織伊代

プロローグ

現在（二〇〇八年一〇月）

多咲菜月の部屋。

菜月が、クローゼットの前で扉を見つめている。

ゆっくりと手を伸ばし、扉を開くと、別の空間に四角い光が差し込む……。

記憶の箱の中の世界。

過去の人々が瓦礫のように、無造作に積み重ねられている。皆、表情が固まっていて人形のように。

菜月、近付いていく。

人々の静止が解け、ゆっくりと動き始める。

菜月、人々の中に埋もれていた箱を見つけ、慎重に手に取って開く。

箱の中から時計の秒針の音が聞こえてくる。

徐々に早くなっていく秒針。

ゆっくりだった人々の動きが次第に早くなり、菜月の周りを通り過ぎていく。

菜月、正面を見据える。

暗転。

【登場人物】

多咲菜月（二〇〇）

OL

小柴 桃（二一九）

菜月の幼馴染み

岬 翔子（二〇〇）

菜月の親友。モデル

藤堂 勇（二三三）

菜月の恋人。大学生

天使（二一九）

天使と名乗る迷子

先生（二一九）

先生と名乗る迷子

レディ（二一七）

レディと名乗る迷子

リカ1（二〇〇）

菜月の人形

リカ2（二〇〇）

桃の人形

過去（二〇〇三年、一〇月）

多咲菜月の部屋。

菜月と恋人の藤堂勇、親友の岬翔子がいる。

二〇本の蝋燭が立ったケーキの前で、

藤堂・翔子　ハッピーバースデー、トゥー、ユー

ハッピーバースデー、トゥー、ユー

ハッピーバースデー、ディア、菜月

ハッピーバースデー、トゥー、ユー

蝋燭の火を吹き消す菜月。

翔子　お誕生日おめでとう、菜月！

藤堂　おめでとう！

菜月　ありがとう！

藤堂、部屋の電気をつける。

藤堂　それでは、多咲菜月の大人の仲間入りを祝して！

菜月　……何それ？

藤堂　儀式みたいなもんだよ、儀式。ほら、乾杯！

菜月・翔子　乾杯！

グラスを合わせて、酒を飲む三人。

菜月　あー、おいしい。やっぱ二十歳だよな。

翔子　何言ってるの、今さらでしょ？

菜月　そうだけどころ、気持ちが違うの。

藤堂　よく言うよ、飲み慣れた癖に。

菜月　誰が教えたのよ、誰が！

藤堂　人のせいにすんなよ。

翔子　菜月、こっち向いて！

菜月　え？

翔子、使い捨てカメラで菜月の写真を撮る。

菜月　やだ、撮るなら撮るって言つてよ！

翔子　言ったらつままないじゃん。自然に撮れたよ。

菜月　じゃあ、次、私が撮る！

藤堂　主役が何言ってるんだよ。貸せよ、俺が撮ってやる。

翔子　やったあ、撮って撮って。菜月こっち！

菜月　えー、いいよ。翔子と写るの、なんか気がひけるし……。

翔子　何言ってるの。ほら、くっついて。

藤堂　こっち見ろよ、笑って笑って！（と、写真を撮る）

菜月　……なんか目、瞑った気がする。

藤堂　そんな事ないよ、可愛い可愛い。

翔子　自信持ちな言って言ってるでしょ。ほら、背筋伸ばして！

菜月　こう？

翔子　そうそうそうそう。

藤堂　おー、いいじゃん。お前もモデルに見えるぞ。

菜月　やめてよ！

三人、様々なポーズで写真を撮ってはしゃぐ。

藤堂

そう言えば、裕太元気？

翔子

ああ、最近、忙しいみたい。

菜月

カメラマンだもんね、カッコいい。

翔子

まだアシスタントだけだね。

藤堂

いいよな、でっかい夢、実現しようとしてる奴は。

菜月

ほんと、先の見えない学生よりずっといいよ。

藤堂

なんだと、こら！

翔子

そうだ、ワイン持って来たんだ。飲む？

藤堂

おー、いいね！

翔子

ギョラが入ったから奮発しちゃった。

翔子、ワインを取り出して、藤堂に見せる。

藤堂

さすが翔子様。(ラベルを見て) お、一九八三年……！

翔子

そ、菜月と同じ年。

菜月

なんか嬉しい。ありがとう、翔子！

藤堂

で、どうなんだ、二十歳になった感想は？

菜月

別に、何も変わらない。

藤堂

変わらない事ないだろ？ 酒も飲めるし、煙草も吸えるし。

菜月

でも、実感ないって言うか……。

藤堂

自覚が足りんぞ、少女Aから多咲菜月になるんだからさ、も

つとこう……

翔子

やだ、オヤジみたい。

菜月

勇に言われたくないし。

藤堂

なんだと、人生の先輩に向かって……！

翔子

ほら、いちやついてないで、飲もうよ！

藤堂

そうだな。

翔子

グラス持って来るね……。

翔子、台所に向かおうとすると、部屋の中を覗いている

小柴桃に気が付く。

翔子

！？

桃

なっちゃん……。なっちゃん！

桃、菜月をめがけて駆け込んでくる。

全身ピンクのロリータファッション、大きな鞆と、おもちゃ箱を持ち、二体の人形をポシェットに入れている。

桃

(菜月に抱きつき) 会いたかった！

菜月

何？

桃

やっと思つた！

菜月

あの……？

桃

なっちゃん？

菜月

えーつと…… (二人に助けを求める)

桃

(菜月の後ろに隠れ) この人達、誰？

藤堂

お前が誰だよ！

翔子

うん、誰？

桃

桃だよ。なっちゃんの幼馴染みの桃！

菜月

幼馴染……？

桃

忘れちゃったの？

桃、わかりやすく落ち込み、その場に座り込む。

菜月 ああ！ 桃ちゃん、だよね……、桃ちゃん……。
忘れてるよ。
藤堂 うん、絶対忘れてる。
翔子 うっさい！ あの、今日はなんていうか……。
菜月

桃、座り込んだまま動かない。

翔子 まあ、いいんじゃない？
藤堂 せっかく来てくれたんだもんな。
翔子 菜月のバースデーパーティーしてんの。混ざってく？
菜月 ちよつと……！
桃 なっちゃんのお誕生日会？
翔子 いいじゃん、人数多い方が。
藤堂 仕切り直し、仕切り直し、ワイン飲もうぜ。
翔子 飲もう、飲もう！

藤堂、ワインをグラスに注ぐ。

桃 何これ……、ジュースがいい。
翔子 お酒飲めない？ ウーロン茶ならあるけど？
桃 苦いから嫌。ジュースが飲みたい。
藤堂 ぶどうジュースみたいなものだよ。騙されたと思って飲んで
みるよ。じゃあ、乾杯！
菜月・翔子 乾杯！
桃 (匂いを嗅いで) ジュースじゃない……。

菜月 あー、おいしい！
藤堂 お前、本当にわかってるのか？
菜月 わかってるよ。そっちこそ！
藤堂 俺はわかってるよ。あー、うまい。

桃、酒をこっそりと隠す。
テーブル上のケーキを見つめ、蝋燭を抜いて捨てる。
菜月、煙草を取り出してくわえる。火をつけようとすると、

桃 ダメ！（煙草を取り上げる）
菜月 何するの！
桃 だって煙草……！
翔子 何……？
菜月 まあまあ、せっかくのパーティーなんだから。そうだ、プレゼントあるんだ。
翔子 マジで？ 嬉しい！
菜月 はい。（小さな箱を取り出し、渡す）
翔子 何だろう……？（箱を開けて）ピースだ、かわいい！
菜月 でしょ？ 菜月、好きそうだと思う。私も色違いのお揃いで買ったやつだ。
桃 (遮るように) ケーキ食べたい！
翔子 え……？ ああ、じゃあ切る？
藤堂 まだ早くない？ 最後だよ。
桃 やだ、今食べたい。今すぐ食べたい。ケーキ食べたい。ケーキ食べたい！
菜月 あんたねえ……！
藤堂 何だこいつ……。……あれ、酒がない。

藤堂、桃が隠した酒を見つける。

何してんだよ！

あのさ、邪魔するのやめてくれない？

してないもん。

菜月……。

だってせっかく……。

……してないもん！

桃、部屋の隅に行き、体育座りをする。

何なの？

もういいよ、ほっといて飲もうぜ。

翔子の携帯が鳴る音。

翔子

あ、ごめん。(電話に出て)もしもし？ うん、大丈夫。今？
菜月の家。うん、パーティーするって言ったじゃん……来れ
そう？

翔子、話しながら台所へ消える。

裕太君かな？

じゃない？ 声変わったし。

だね。いいねえ、ラブラブで。

どういう意味？

藤堂

菜月 別に？

翔子、戻ってくる。

ごめん、帰る。

え？ どうしたの？

久しぶりに会えそうなんだ。

そっか、お互い忙しいと大変だね。

ほんとごめんね、じゃあ、後はごゆっくり。
うん、ありがと。

翔子、慌ただしく家を出て行く。

いいねえ、一生懸命で、可愛くて。

どういう意味？

別に？

藤堂

二人、顔を見合わせて笑う。

桃、離れた所からその様子を眺めている。

桃

なっちゃん、せっかく会えたのに……。

桃、人形を取り出して、話しかける。

桃

……そうだね、行こうか。……うん、物語には登場人物が必
要だよ。

桃、ポシエツトから時計を取り出し、じつと見つめる。
遠くから聞こえてくる時計の秒針。

桃、決心したかのように顔をあげる。
暗転。

続く
